

平成24年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



平成24年4月25日

上場会社名 ファナック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6954 URL <http://www.fanuc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲葉 善治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 権田 与志広 (TEL) 0555 (84) 5555
 定時株主総会開催予定日 平成24年6月28日 配当支払開始予定日 平成24年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 平成24年6月29日
 決算補足説明資料作成の有無： 有
 決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期の連結業績(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期	538,492	20.7	221,834	16.9	228,578	17.0	138,819	15.5
23年3月期	446,201	76.1	189,757	244.9	195,434	225.4	120,155	220.3

(注) 包括利益 24年3月期 132,590百万円 (23.7%) 23年3月期 107,216百万円 (66.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
24年3月期	709.20	—	14.8	21.3	41.2
23年3月期	613.75	—	14.1	20.5	42.5

(参考) 持分法投資損益 24年3月期 3,499百万円 23年3月期 3,126百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期	1,130,625	985,322	86.8	5,013.69
23年3月期	1,013,000	894,494	87.9	4,550.71

(参考) 自己資本 24年3月期 981,323百万円 23年3月期 890,804百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
24年3月期	144,223	△ 42,097	△ 42,052	637,069
23年3月期	122,338	△ 6,816	△ 25,759	583,486

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
23年3月期	—	85.54	—	98.59	184.13	36,047	30.0	4.2
24年3月期	—	113.76	—	99.01	212.77	41,646	30.0	4.4
25年3月期 (予想)	—	—	—	—	—		—	

(注) 25年3月期の第2四半期末及び期末の配当金につきましては、開示が可能になった時点で速やかに開示する予定です。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	275,000	3.2	113,000	△ 3.1	116,000	△ 3.0	75,000	1.0	383.18

4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注)詳細は、添付資料14ページ「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更」をご覧ください。

(3)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期	239,508,317株	23年3月期	239,508,317株
② 期末自己株式数	24年3月期	43,779,591株	23年3月期	43,757,759株
③ 期中平均株式数	24年3月期	195,739,018株	23年3月期	195,772,801株

(参考)個別業績の概要

1. 平成24年3月期の個別業績(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(1)個別経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期	464,108	22.2	200,507	18.7	224,643	29.1	142,021	34.0
23年3月期	379,933	148.9	168,876	366.7	173,992	216.9	106,005	74.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期	725.57	—
23年3月期	541.47	—

(2)個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期	1,011,993	895,533	88.5	4,575.38
23年3月期	887,917	795,764	89.6	4,065.19

(参考)自己資本 24年3月期 895,533百万円 23年3月期 795,764百万円

※ 監査手続きの実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査の手続きの対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記述されている業績予想および将来予想は、主要市場における製品の需給動向、競合状況、経済情勢その他に不透明な面があり、実際の業績は見通しと異なる可能性があることをご承知おきます。業績予想につきましては、添付資料4ページ「次期(平成24年度)の見通し」をご覧ください。なお、25年3月期の通期の連結業績予想ならびに第2四半期末および期末の予想配当金につきましては、公表が可能になった時点で速やかに明らかにする予定です。

○ 添付資料の目次

1. 経営成績	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	4
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当	5
2. 経営方針	6
3. 連結財務諸表	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 継続企業の前提に関する注記	14
(6) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項	14
(7) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更	14
(8) 追加情報	14
(9) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(セグメント情報)	15
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
(リース取引、有価証券、デリバティブ取引、企業結合等)	16

決算発表補足資料

1. 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

① 当期（平成23年度）の経営成績

平成23年度における経済情勢は、上期においては、中国を中心にアジアの景気が拡大、回復し、欧米では緩やかながら景気回復が進みました。下期においては、米州では緩やかな回復が続きましたが、アジアの景気の拡大、回復は緩やかになり、欧州では景気が弱まりました。欧州での金融不安を背景に、世界的に景気の下振れへの懸念を生じました。

日本経済は、東日本大震災の影響を受けながらも、景気は緩やかに持ち直しました。しかし、円高の進行、電力供給の制約、原子力災害の影響、タイの大洪水など、日本の企業にとって厳しい一年となりました。

当社では、東日本大震災の地震による直接の被害はありませんでしたが、製造に必要な部品の入手は一時的に厳しい状況となりました。このような中、研究所を中心に会社の総力を挙げて対処いたしました。入手が困難となった主要部品については、代替部品を使えるようにするため、昼夜兼行で設計変更に取り組み、生産への影響を回避いたしました。また、電力不足の長期化に備え、震災後すぐに非常用ディーゼル発電機を発注し、平成23年末には出力1千キロワットの発電機12台の設置を完了いたしました。

一方で、平成23年度における当社の業績は、中国市場の旺盛な需要と欧米・日本市場の回復により、過去最高水準で推移しました。特に、ロボット部門の売上は前期比で47%増加し、ロボマシン部門も30%増加しました。また、活発な需要に対応するため、平成23年12月には生産能力月5千台のロボット工場を完成させました。筑波工場では、ロボドリルの生産能力を増強し、下期には月産2千5百台を達成いたしました。これらの工場には最新のロボットセルを導入し、生産能力の増強と共に生産コストの大幅な削減を図りました。研究開発におきましては、高信頼性を基本に、各商品の知能化・超精密化を図り、競争力の強化に全力を挙げました。また、徹底的な経費の削減を、引き続き行いました。

平成23年度の連結売上高は5,384億92百万円（前期比20.7%増）、連結経常利益は2,285億78百万円（前期比17.0%増）、連結純利益は1,388億

19 百万円（前期比 15.5%増）となり、いずれも過去最高の業績となりました。

部門別の状況は、以下のとおりです。

[F A 部門]

CNCシステムの主要顧客であります工作機械業界の業況は、日本・欧米では、上期は回復基調が続きましたが、下期には、欧州の金融不安等を背景に弱まりました。アジアでは、中国の金融引き締め等の影響により拡大、回復基調は緩やかなものとなりました。当社のCNCシステムの売上は、総じて緩やかに回復しました。

レーザにつきましては、主要市場である日本を中心に、売上が大幅に回復しました。

F A 部門の連結売上高は、2,675 億 85 百万円（前期比 8.0%増）、全連結売上高に対する構成比は 49.7%となりました。

[ロボット部門]

ロボットにつきましては、世界全体で売上が大幅に回復しました。特に、欧米市場では、自動車産業向けを中心に、売上の回復が顕著でした。さらに、中国市場では売上が大幅に拡大しました。

ロボット部門の連結売上高は、1,147 億 85 百万円（前期比 47.2%増）、全連結売上高に対する構成比は 21.3%となりました。

[ロボマシン部門]

ロボドリル（小型マシニングセンタ）につきましては、主要市場である中国での売上が大幅な拡大を続けました。

ロボショット（電動射出成形機）につきましては、大洪水の影響でタイ向けの売上が急増しましたが、中国・日本・米州市場は落ち込み、総じて売上は減少しました。

ロボカット（ワイヤカット放電加工機）につきましては、売上はまだ回復の途上にありますが、欧州・日本市場を中心に回復が進みました。

ロボマシン部門の連結売上高は、1,561 億 22 百万円（前期比 29.5%増）、全連結売上高に対する構成比は 29.0%となりました。

② 次期（平成24年度）の見通し

平成23年度の世界の景気は、全体として回復傾向にありましたが、回復の動きは次第に鈍化してきており、景気の下振れへの懸念を含んだまま、平成24年度を迎えております。今後も、中国市場の動向や、欧州の金融情勢を注視しながら、需要の変化を見極めてゆく必要があります。

現時点での平成24年度（平成25年3月期）上期の連結業績予想は以下のとおりです。

平成25年3月期上期の連結業績予想

	金額（百万円）	前年同期比（%）
売上高	275,000	3.2
営業利益	113,000	△3.1
経常利益	116,000	△3.0
当期純利益	75,000	1.0

注）平成24年4月1日から平成24年9月30日までの期間における為替レートは、平均79円/ドル、104円/ユーロを想定しております。

(2) 財政状態に関する分析

〔財政状態〕

資産合計は、前年度末比1,176億25百万円増の1兆1,306億円となりました。これは、以下で述べる連結キャッシュ・フローの増加により、現金及び預金が前年度末比535億56百万円増加したことに加え、受取手形及び売掛金が194億36百万円、棚卸資産が151億78百万円増加したことが主な理由です。

また負債合計は、前年度末比267億97百万円増の1,453億3百万円となりました。

純資産合計は、前年度末比908億28百万円増の9,853億22百万円となりました。

〔キャッシュ・フロー〕

当連結会計年度における連結キャッシュ・フローは、以下に述べるキャッシュ・フローの増減に為替換算差額39億31百万円を減算し、前年同期

比 265 億 14 百万円減の 561 億 43 百万円となりました。この結果現金及び現金同等物の当連結会計年度期末残高は 6,370 億 69 百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動の結果得られた資金は、前年同期比 218 億 85 百万円増の 1,442 億 23 百万円となりました。これは主に税金等調整前当期純利益の増加が、売上債権、棚卸資産及び法人税等の支払額の増加を上回ったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動の結果使用した資金は、前年同期比 352 億 81 百万円増の 420 億 97 百万円であり、これは主に有形固定資産の取得による支出が増加したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動の結果使用した資金は、前年同期比 162 億 93 百万円増の 420 億 52 百万円であり、これは主に配当金の支払が増加したことによるものです。

(3) 利益配分に関する基本方針および当期の配当

当社は、企業体質の強化を図り、連結業績に連動した利益還元を将来にわたり実現できるよう努力を続けております。

株主還元につきましては、連結ベースで当期純利益の 30%の配当性向を維持することを基本方針としております。また、株式市場の状況を見て、必要により自己株式取得も行ってまいります。

なお、当社は、厳しい市場競争のなかにあって利益確保のため努力を続ける取締役および社員につきまして、その賞与を配当と同様純利益に連動して支給することを併せて方針としております。

また、内部留保資金につきましては、当社の事業は技術革新が急激でかつ競争が激しい先端分野であることに鑑み、中長期的な視点にたち、新商品の開発、製造のロボット化および海外体制の強化への投資に優先的に活用いたします。

当期の配当金につきましては、以下を予定しております。

	上期配当	下期配当 (予定)	年間配当 (予定)	配当性向
当期(平成 23 年度)	113 円 76 銭	99 円 01 銭	212 円 77 銭	30.0%
(ご参考) 前期(平成 22 年度)	85 円 54 銭	98 円 59 銭	184 円 13 銭	30.0%

2. 経営方針

経営方針につきましては、最近の決算短信（平成 23 年 4 月 27 日発表の決算短信）から変更がないため、開示を省略いたします。

当該決算短信は、次の URL からご覧いただくことができます。

（当社ホームページ）

<http://www.fanuc.co.jp/>

（東京証券取引所ホームページ（上場会社情報検索ページ））

<http://www.tse.or.jp/listing/compsearch/index.html>

3. 連結財務諸表
 (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当連結会計年度 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	583,520	637,076
受取手形及び売掛金	79,281	98,717
商品及び製品	31,718	41,874
仕掛品	32,162	34,058
原材料及び貯蔵品	7,541	10,667
繰延税金資産	15,761	19,822
その他	5,758	8,191
貸倒引当金	△1,749	△1,736
流動資産合計	753,992	848,669
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	66,231	79,656
機械装置及び運搬具（純額）	15,670	28,010
土地	114,910	114,779
その他（純額）	10,244	13,318
有形固定資産合計	207,055	235,763
無形固定資産		
のれん	16,988	12,326
その他	520	432
無形固定資産合計	17,508	12,758
投資その他の資産		
投資有価証券	26,270	26,635
その他	8,826	7,446
貸倒引当金	△651	△646
投資その他の資産合計	34,445	33,435
固定資産合計	259,008	281,956
資産合計	1,013,000	1,130,625

ファナック(株)(6954)平成24年3月期決算短信

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当連結会計年度 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,468	30,196
未払法人税等	42,168	50,155
アフターサービス引当金	4,123	4,590
その他	21,830	30,329
流動負債合計	89,589	115,270
固定負債		
退職給付引当金	25,219	26,499
その他	3,698	3,534
固定負債合計	28,917	30,033
負債合計	118,506	145,303
純資産の部		
株主資本		
資本金	69,014	69,014
資本剰余金	96,261	96,265
利益剰余金	1,082,997	1,180,556
自己株式	△311,094	△311,394
株主資本合計	937,178	1,034,441
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,349	1,959
為替換算調整勘定	△48,723	△55,077
その他の包括利益累計額合計	△46,374	△53,118
少数株主持分	3,690	3,999
純資産合計	894,494	985,322
負債純資産合計	1,013,000	1,130,625

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月31日)
売上高	446,201	538,492
売上原価	208,076	262,120
売上総利益	238,125	276,372
販売費及び一般管理費	48,368	54,538
営業利益	189,757	221,834
営業外収益		
受取利息	1,466	1,912
受取配当金	533	651
作業くず売却益	744	825
持分法による投資利益	3,126	3,499
雑収入	1,666	1,123
営業外収益合計	7,535	8,010
営業外費用		
投資有価証券評価損	530	—
為替差損	455	600
固定資産除売却損	478	185
売上割引	165	142
雑支出	230	339
営業外費用合計	1,858	1,266
経常利益	195,434	228,578
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,939	—
特別損失合計	1,939	—
税金等調整前当期純利益	193,495	228,578
法人税、住民税及び事業税	77,319	92,831
法人税等調整額	△4,638	△3,695
法人税等合計	72,681	89,136
少数株主損益調整前当期純利益	120,814	139,442
少数株主利益	659	623
当期純利益	120,155	138,819

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月31日)
少数株主損益調整前当期純利益	120,814	139,442
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△62	△390
為替換算調整勘定	△12,469	△6,504
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,067	42
その他の包括利益合計	△13,598	△6,852
包括利益	107,216	132,590
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	106,751	132,074
少数株主に係る包括利益	465	516

(3) 連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月31日)
株主資本		
資本金		
当期首残高	69,014	69,014
当期末残高	69,014	69,014
資本剰余金		
当期首残高	96,259	96,261
当期変動額		
自己株式の処分	2	4
当期変動額合計	2	4
当期末残高	96,261	96,265
利益剰余金		
当期首残高	987,685	1,082,997
当期変動額		
剰余金の配当	△25,194	△41,566
当期純利益	120,155	138,819
連結範囲の変動	351	306
当期変動額合計	95,312	97,559
当期末残高	1,082,997	1,180,556
自己株式		
当期首残高	△310,604	△311,094
当期変動額		
自己株式の取得	△495	△304
自己株式の処分	5	4
当期変動額合計	△490	△300
当期末残高	△311,094	△311,394
株主資本合計		
当期首残高	842,354	937,178
当期変動額		
剰余金の配当	△25,194	△41,566
当期純利益	120,155	138,819
連結範囲の変動	351	306
自己株式の取得	△495	△304
自己株式の処分	7	8
当期変動額合計	94,824	97,263
当期末残高	937,178	1,034,441

ファナック(株)(6954)平成24年3月期決算短信

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成23年 3 月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成24年 3 月31日)
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	2,411	2,349
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△62	△390
当期変動額合計	△62	△390
当期末残高	2,349	1,959
為替換算調整勘定		
当期首残高	△35,381	△48,723
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△13,342	△6,354
当期変動額合計	△13,342	△6,354
当期末残高	△48,723	△55,077
その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△32,970	△46,374
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△13,404	△6,744
当期変動額合計	△13,404	△6,744
当期末残高	△46,374	△53,118
少数株主持分		
当期首残高	3,273	3,690
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	417	309
当期変動額合計	417	309
当期末残高	3,690	3,999
純資産合計		
当期首残高	812,657	894,494
当期変動額		
剰余金の配当	△25,194	△41,566
当期純利益	120,155	138,819
連結範囲の変動	351	306
自己株式の取得	△495	△304
自己株式の処分	7	8
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△12,987	△6,435
当期変動額合計	81,837	90,828
当期末残高	894,494	985,322

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月 31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	193,495	228,578
減価償却費	13,321	15,466
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	251	30
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,891	1,433
受取利息及び受取配当金	△1,999	△2,563
持分法による投資損益 (△は益)	△3,126	△3,499
売上債権の増減額 (△は増加)	△21,247	△19,282
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△20,208	△16,521
仕入債務の増減額 (△は減少)	6,560	9,501
その他	△2,543	10,139
小計	167,395	223,282
利息及び配当金の受取額	2,836	4,063
法人税等の支払額	△48,946	△84,218
その他	1,053	1,096
営業活動によるキャッシュ・フロー	122,338	144,223
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,070	△43,959
子会社株式の取得による支出	△1,360	—
その他	1,614	1,862
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,816	△42,097
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△513	△295
配当金の支払額	△25,198	△41,551
その他	△48	△206
財務活動によるキャッシュ・フロー	△25,759	△42,052
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,106	△3,931
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	82,657	56,143
現金及び現金同等物の期首残高	499,140	583,486
連結子会社の非連結子会社合併に伴う現金及び現金同等物の増加	1,689	—
連結除外に伴う現物及び現物同等物の減少額	—	△2,560
現金及び現金同等物の期末残高	583,486	637,069

(5) 【継続企業の前提に関する注記】

該当事項はありません。

(6) 【連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項】

最近の有価証券報告書（平成23年6月30日提出）における記載から重要な変更がないため開示を省略しております。

(7) 【連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更】

該当事項はありません。

(8) 【追加情報】

当連結会計年度の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

(9) 【連結財務諸表に関する注記事項】

(セグメント情報)

1 セグメント情報

前連結会計年度(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) 及び

当連結会計年度(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

当社グループは、ファクトリーオートメーション (F A) の総合的なサプライヤーとして、自動化による生産システムに使用されるCNCシステムとCNCシステムの技術をベースとしたその応用商品の開発、製造、販売を主な事業とする単一業種の事業活動を営んでおります。

当社グループでは、すべての商品に、CNC、サーボモータが使用されていることから、投資の意思決定は、特定の商品の状況だけではなく、すべての商品の受注・売上、製造の状況により判断しております。

このように、当社グループにおいては投資の意思決定を全体で実施し、事業セグメントは単一であるためセグメント情報の記載を省略しております。

2 関連情報

当連結会計年度(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

(1) 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

	F A	ロボット	ロボマシン	合計
外部顧客への売上高	267,585	114,785	156,122	538,492

(2) 地域ごとの情報

◎ 売上高

(単位：百万円)

日本	米州	欧州	アジア	その他の地域	合計
126,780	75,398	65,771	268,124	2,419	538,492

(注) 売上高は顧客の所在地別を基礎とし、国又は地域別に分類しております。

◎ 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の額が連結貸借対照表の有形固定資産の額の90%超であるため、記載を省略しております。

◎ 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載しておりません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)		当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	
1株当たり純資産額	4,550.71円	1株当たり純資産額	5,013.69円
1株当たり当期純利益金額	613.75円	1株当たり当期純利益金額	709.20円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。

項目	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
当期純利益(百万円)	120,155	138,819
普通株式に係る当期純利益(百万円)	120,155	138,819
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(千株)	195,773	195,739

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引、有価証券、デリバティブ取引、企業結合等)

決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため、開示を省略しております。

決算発表補足資料

1 連結業績（平成23年4月～平成24年3月）

1) 純利益 1,388億円（前年比 1.2倍）

2) 売上高 5,385億円（前年比 1.2倍）

ロボットは、欧米市場・中国市場向けを中心に、世界全体で売上が大幅に回復。
ロボドリル（小型マシニングセンタ）は中国での売上が大幅に拡大。

3) 営業利益 2,218億円（前年比 1.2倍）

経常利益 2,286億円（同 1.2倍）売上高経常利益率 42.5%

4) 部門別売上高

FA 2,676億円（前年比 1.1倍）

ロボット 1,148億円（同 1.5倍）

ロボマシン 1,561億円（同 1.3倍）

5) 受注高 5,336億円（前年比 1.1倍）

2 24年上期業績予想

純利益 750億円（前年同期比 1.0%増）

営業利益 1,130億円（同 3.1%減）

経常利益 1,160億円（同 3.0%減）

売上高 2,750億円（同 3.2%増）

3 連結業績推移（単位 億円）

